

## 大阪・関西万博 大屋根（リング）加工について、現在の状況

2025 年、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマにした大阪・関西万博が開催されます。当社においては、これまで培ってきたプレカットの技術、大型木造建築物への技術などの木材の加工技術が評価され、万博のシンボルである「大屋根（リング）」の加工で仕事を頂くこととなりました。この大屋根はパビリオンの周りを囲み、全長 2km にも及ぶ世界最大級の木造建造物です。それに伴い、現在、全社を挙げて準備をしております。

当社の受注は大屋根（リング）の柱部分 5 0 0 m<sup>3</sup>です。柱の加工は、当社が持つ最大の加工機 MPS-71 で行います。先日のプロウッズスタイルフェアでも展示しましたが、サンプルでの加工は完了しており（下記写真）、精度・供給体制については工場審査を終了しました。合わせて、審査の合格を元請けのゼネコン様と双方で確認しています。

写真の通り非常に太くて長い集成材の角材を使用した柱の構造です。実際の加工となると精度や加工方法、加工時間など、様々な問題がありました。設計部門・製造部門で加工方法や設計を何度も協議し、問題解決へ試行錯誤を行って試作品完成となりました。7 月からの本加工に向けて、当社と同じく同量程度加工を担当する会社と協力し、設計上と加工機対応上の最終確認を進めていきます。2025 年 2 月の納期までの 20 ヶ月間、毎月にして 25 m<sup>3</sup>分を確実に納品していきたいと考えています。

大阪・関西万博では、圧巻の大きさを誇る大屋根（リング）の下を通り各パビリオンに移動できます。再生可能な資源である木材の SDGs を訴え、また、大型建造物での木の可能性・木の心地よさを体感して頂ければと思います。より良い万博になることを願って当社としても精一杯の努力をして準備します。

まだ先は長く、現状は遅延なく加工・納品を目指して一つ一つの課題に向き合いコツコツと頑張る次第ですが、完成した暁には社員としてリングの下を歩ける日を楽しみにしております。ぜひ、万博に来場された際は実物を見て歩いて頂けると、大変うれしく思います。

